

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

広島県

行 事 名 称	「第71回文化財防火デー」
実施期間・日時	令和7年1月27日（月） 13:30～14:30
実 施 場 所	県史跡 石泉文庫及塾・僧叡之墓（広島県呉市長浜）
主 催 者	専徳寺、呉市東消防署、呉市

■実施内容

訓練の想定

自動火災報知機の作動で、地域住民がかけつけると塾から出火、初期消火活動を行う。
火災の通報を受け、消防署は、道路が狭小で緊急車両が通行できないため、70m離れた2方向からホースを延長して放水することを想定。

訓練の内容

地域住民による火災発見、通報、初期消火（備え付け消火栓）訓練
消防署による放水訓練 ※ポンプ車からホースを連結し現場に到着したが、放水はしていない。

参加者及び役割分担

広長浜地区住民 (13名): 119番通報、初期消火
広南小学校3年生 (8名): 消防訓練後、消火器を使った初期消火訓練 ※専徳寺境内で実施
呉市東消防署 (20名): 全体統括、放水訓練、講評
専徳寺 (1名): 現場立会
呉市文化振興課 (1名): 現場立会

特に工夫した点

地域住民による初期消火体制づくり。
地元小学生も参加して消火器を使った初期消火訓練の実施。

問題点・課題

道路が狭く緊急車両が現場まで通行できないので、日頃の防犯活動や消火活動が迅速に行うことができる体制を維持することが課題。
地域住民の高齢化、児童数の減少に伴う訓練参加者の減少。

その他

日頃の防犯活動や文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地域住民の文化財保護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。
文化財の防災意識の高揚を図るため、地域内外からを問わず参加者を募集することを検討する。

訓練風景

